

2021.10.7 (木)
第 8 回例会
(通算3635回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副 会 長 浅川 正紳
幹 事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	経済と地域社会の発展月間・米山月間
本日のプログラム	中学親善硬式野球大会報告会・会員卓話 (担当: 青少年奉仕委員会・理事会)
次週例会	講師例会「地球温暖化と釧路の気象災害について」(担当: プログラム委員会)

- ロータリーソング: 奉仕の理想
- ソングリーダー: 芦名 賢一君
- 会員数 100名
- ビジター なし
- ゲスト 釧路リトルシニア球団 監督 橋 幸司様

会長の時間

杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。1カ月ぶりの再開でございます。まずは、皆さんの元気な顔を拝見して例会を再開できたことに感謝申し上げます。

いま、入ったニュースですが、佐藤貴之君とテーブルで話をしていましたら、野球の報告なのですが、ご子息がリトルシニアに入られていて、旭川大学校付属高校に特別優先推薦入学が決まったようです。おめでとうございます。活躍をご期待しております。そのような子どもたちがどんどん出てくることを祈りながらこの活動をやっている訳ですので、本当に良いことだと思いました。おめでとうございます。1カ月ぶりの再開ですが、皆さん、いろいろスケジュールの方でご迷惑をおかけしております。まずは、今週末に『地区大会』が開催されます。今回は釧路での開催となりますが、コロナ対策のために本会場は交流センターですけれども、第7分区のクラブは全日空ホテルでの別会場となります。いろいろ手法も変わってくるようでして、多少、皆さんにご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、ぜひご出席とご協力をよろしくお願

しくお願

いたしたいと思います。また、28日には『ガバナー公式訪問』『クラブ協議会』を開催させていただきます。少し時間が空いてしまいましたが、発表をされる各委員長の皆さんにおかれましては抜きなくご準備をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、もう何回「いよいよ」と言ったか分かりませんが、いよいよ21日に「夜例会」を再開させていただくことで進めております。親睦の皆さんにはご活躍を期待しておりますけれども、皆さんもぜひご理解とご協力をいただきながら大いにロータリーを楽しめる夜例会にしていきたいと思

います。どうぞよろしくお願いいたします。お休みの間、テレビなどを見ておりましたらコロナのニュースがひっきりなしに流れておりました。このニュースを見ていると、改めて世の中にはいろいろな意見があり、そのいろいろな意見の中でひとつの答えを出すということは本当に難しいことだと思

いました。また、私のネタでございますが、小学校1年生の時のことを思い出しました。何てことのない話しですがご紹介させていただきたいと思

います。1年生の時に、授業で天気の関係の授業をやっていたと思うのですが、その時に、担任の先生が「皆さんは雨の日と晴れの日、どっちがいい」と聞きました。

クラスみんなが「晴れの日が良い」と。だいたいクラス全員が言いますよね。そうすると担任の先生が「そうですか、じゃあ雨が降って欲しいと思っている人はいないのかな」と言うのです。そうすると自信満々に杉村少年が「そんな人いるわけないでしょ。晴れが良いに決まっているでしょ」と言うわけです。そうすると先生が「じゃあ莊平君、農家の人は雨が降らなかったら困るよね。雨が降って欲しいと思わないのかな」と言うのです。そうすると杉村少年はもう脳天に雷がズガガガガーンと落ちました。なるほど、と。自分が間違いないと思っていることにも必ず反対意見があるんだ、答えはひとつじゃないのだ、と。いまでも思い出す僕にとっては大切な出来事でした。また、もうひとつ、答えが難しいというお話を紹介させていただきます。これは皆さんご存じかもしれませんが、イソップ童話で『ロバを売りに行く親子』という物語がありまして、ご紹介をします。親子がロバを売りに市場へ行くわけです。2人でロバを引いて歩いていると道路にいる人が「何をやっているのだ。せっかくロバを引いているのだからロバに乗らないともったいない」と言うのです。なるほどということで、今度は息子を乗せてロバを引いて歩きます。すると通った人がその子どもを見て、「親を歩かせて息子がロバに乗っているとはどういうことだ」と言うわけです。すると「分かった」と、今度はお父さんがロバに乗るわけです。また通った人が、「子どもを歩かせて親が乗っているとはどういう親だ」と言われます。すると、今度は親子2人がロバに乗るわけです。また通った人が「ロバがかわいそうだ。2人も乗せて重そうだ。もっとロバを楽にさせてあげろ」と言うわけです。すると親子は、ロバの両足をひもでくくりつけて棒で担いで今度はロバを持ち歩いて向かいます。すると、橋の上で嫌がったロバが暴れ出して落ちてロバが死んでしまうというお話です。これは、人の意見を聞き過ぎて振り回されてしまうというお話です。この教訓は、人の意見を聞きながらもしっかりと自分の意見・考え方・信念を持つことが大事です、ということかと思えます。僕はここでもうひとつ大切なことは、目的と手段をしっかりと区別する考えを持つことが大事なのだろうと思っています。この場合、この親子の目的はロバを売ってお金に換えることが目的で、市場へ行くことはあくまで手段です。だから、この親子はこのロバを売るという目的をしっかりと理解さえしていれば、人の意見に左右されずに市場に着けたのではないかと思います。ということでコロナの話に戻りますけれども、目的は皆さんが平和で豊かな生活を送られるようになることで、コロナ対策はあくまで手段でしかないと思っています。ですから大事なことは、みんなできっかりと

知恵を出し合って、前を向いて、目的と手段を履き違えないようにして向かって行くことだと思いましたが、という話でございます。

わがロータリーもこの令和3年の10月、ここが目的達成への分岐点になるようにみんなで祈念しながら例会を今日から再開していきたいと思えます。

どうぞよろしく願いいたします。

幹事報告 市橋 多佳丞幹事



皆さま、改めましてこんにちは。私から幹事報告をさせていただきます。いま杉村会長からもございましたが、今度の日曜日に『地区

大会』が行われます。9時45分を目途に国際交流センターの入口にて皆さまとの写真撮影を行いたいと考えております。皆さま、お時間をお忘れなきようにご移動をお願いいたします。

写真撮影の後、ANA クラウンプラザホテル釧路に移動をしていただき、そちらの会場にて同時中継の地区大会を見ていただく流れになります。その後、同部屋にて昼食をとっていただきます。

その後、同じ場所で第1から第8分区のクラブの方が食事をとる関係上、皆さまには食事のお席から一度ご退席をいただくという少々面倒くさい動きになっております。なんとか協力をして地区大会を成功に持って行きたいと思っておりますので、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。詳細につきましては本例会後、事務局より案内を送付させていただきますのでご覧いただければと思っております。

続きまして、先ほど杉村会長からもありました『夜間例会』を10月21日に再開予定となっていて、本日も案内をさせていただきます。とりまとめの期日が短くなっておりますけれども皆さまのご出席を心よりお待ちしておりますのでよろしくお願い申し上げます。

また、10月28日の第4例会にて『ガバナー公式訪問』が行われます。本日、皆さまのパーソナルボックスに活動計画書を配布させていただきました。そちらを当日午前中に行われる『クラブ協議会』で使用しますので、お忘れのなきようお願い申し上げます。こちら本日も案内を皆さまに送付させていただきますので予定となっております。

また、今月10月のロータリーレートは112円となっております。

また、本例会終了後、理事会が行われますので理事者の皆さまはローズホールの方へご移動をお願いいたします。

以上でございます。

■本日のプログラム■
中学親善硬式野球大会報告会・会員卓話

青少年奉仕委員会 佐藤 貴之委員長

青少年奉仕委員会佐藤でございます。先ほど杉村会長からお話が出ると思っておりませんでしたのでニコニコをしておりますが、後ほどニコニコをさせていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。



それでは、本日のプログラム『全道中学親善硬式野球大会』の大会報告をさせていただきたいと思っております。例年ですと、このプログラムでは『ライラセミナー』も同時にご報告させていただくのですが、今年度はライラが中止となっておりますので、本年度は野球大会の報告のみとさせていただきます。

本日は、まず7分ほどの動画をご覧になってから、監督にご挨拶をさせていただきたいと思っております。それでは動画をお願いいたします。

(全道中学親善硬式野球大会動画 鑑賞)

釧路リトルシニア球団監督 橋 幸司様



皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました釧路リトルシニア監督の橋と申します。よろしくお願いたします。

本年も『全道中学親善硬式野球大会』の開催に向けご尽力いただきました全ての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

11回目となる今大会は、このコロナ禍での開催となりましたので、規模を大幅に縮小して道東地区の3チームによる総当たりで実施いたしました。十勝帯広チーム・大空チーム・釧路、この3チームは毎年近郊ということもあり練習試合を常に行っており、相手の手の内も知る仲ではありましたが大会という緊張感を持った試合はやはり練習試合とは全く違う雰囲気です。選手はプレーできていたと感じました。結果は釧路チームが優勝ということになりました。

今回は少々規模が縮小した分、総当たりということもありまして、選手に個人賞を設定することを初めて行ってみました。選手はとても喜んでおりました。

また、グラウンドを提供していただきました釧路工業高校の皆さんが、グラウンドを貸すだけでなく、整備

やお手伝いなど全てをしていただけて、良い指導をされていると強く感じ、見習わなくてはいけないと思いました。さすが高校生と感じました。

当球団ですが、現在、3年生9名が引退して1・2年生14名で活動しております。常に全道大会ですので移動が大変なのですが、14名で活動しております。ただ、団員数不足は否めないもので、皆さまのお近くに野球少年がおられましたらぜひご紹介いただければと思います。

重ねてですが、当球団OBの佐藤龍世選手ですが、今シーズン途中で北海道日本ハムファイターズに移籍をいたしました。一軍の試合にも出させていただいておりますので、併せてご声援いただければと思います。

今後も本大会を継続し、釧路の地にまだまだ根付かぬ中学硬式野球の発展と野球人口の増加、釧路の野球の底上げの一端を担っていければと思っております。次年度以降も全道中学親善硬式野球大会開催に向け皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。

本日は、どうもありがとうございました。

『会員卓話』

クラブ運営委員会 中島 徳政委員長

この後は、『会員卓話』でお時間を使わせていただきたいと思っております。

いまのVTRは佐藤君が作りましたので、かしこにロータリー色の多いビデオとなっております。ご苦勞様でした。

それではこの後、須藤さんに会員卓話という形で。須藤さんは『旅する鍼灸院』という本を著作され販売されております。本日はご厚意で、皆さんに一冊ずつお持ち帰りいただければとテーブルの方に置かせていただきましたのでご紹介をさせていただきます。

それでは、須藤様、お願いたします。

あんずの種 釧路本院院長 須藤 隆明君

皆さま、こんにちは。あんずの種の須藤隆明と申します。いま言われたような形で『旅する鍼灸院』という本を出したので



「お話をしてください」と言われて、このような場に呼んでいただきお話をさせてもらうことを嬉しく思っています。

釧路ロータリークラブに入って4年目になるのですが、あまり活動ができないところもありますけれども、僕にとってロータリークラブとはすごく異質な世界と思って少々ドキドキ、勇気を持ちながら入ったのです

けれども、このような私を温かく迎え入れてくれる仲間の方がたくさんいたこと、本当に嬉しくて感謝したいと申します。

今日は、時間が限られているのですけれども伝えたいことは、この異質なものに飛び込むということはいいなという話と、僕35年間鍼灸師として健康のことをやっています。いろいろな健康法がありますけれども、この『旅』も健康法のひとつではないかと思っていますことなのでその話をさせていただきます。

杉村少年ならぬ須藤少年も小学校のころ、米町公園から海を見ていると外国船などたくさんの船が入っていて、それを見ては「いつか遠くへ行ってみたい。外国へ行ってみたい」という夢見心地な少年を過ごしていました。大学へ入ったときに探検部というクラブに入っているいろいろな活動をするが増えました。いろいろな所へ行ってきました。

今日みたいな青空を見ていると、32年前の10月の今頃は台湾にいました。鍼灸学校を出て中国に留学をしようと思っていましたけれども、ちょうど1989年の「天安門事件」があって中国へ行けなくなって、その間、台湾で勉強をしたり中国語を習おうと思って半年暮らしていました。10月10日が台湾の建国記念日で、街は活気溢れておめでたいところですがけれども、その時僕は1,200円～1,300円の安宿に泊っていました。宿の2階のテラスから見上げると立派なシエラトンホテルが見えて、いまはものすごく立派なホテルがたくさんありますけれども、「いつか将来あのようなホテルに泊まれるようになりたい」と思いながらなかなか泊まれなかったのです。恥ずかしい話ですがけれども、上の方に泊まり客のみのプールがあるのでけれども、泊まり客のふりをしてごまかして入ってチャプチャプして、いけないことをやっています台湾の方あるいはシエラトンホテルには申し訳ないと思ったのですがけれども、4年前に念願のシエラトンにも泊まることができました。

もう皆さん方は世界をあちこち行かれている方ばかりですがけれども、僕がひとつ自慢できることは、19歳の時に初めて世界をグルッと回るバックパッカーをやっている時はものすごい貧乏旅行だったということです。台湾の時もそうでしたけれど、その前の時も限りなく貧乏旅行をしながら、ルートは飛行機などはあまりなく陸路が多かったです。世界最悪の陸路の国境越えという南イランからパキスタンへ抜けるルートで、そこを超える時や、砂漠で移動をしている時にバスから急に下ろされて、何もない所でヒッチハイクでギリギリ帰れて生き延びたり、ケニアではパンツに隠していたお金を税関の人にピュッとポッケされたりなど結構ハラハラすることもあったり。

人生の中では、火事で家が軒丸焼けになったこともありますけれども、いろいろなことを乗り越えて、人

生っておかしいですけども「何とかなるな」という哲学だけは持って帰って来ました。詳しくはその本に書いてありますので、読んでいただければ。

今日、本をプレゼントされて良かったと思う人が半分ぐらいで、余計なゴミが増えたと思う方も多いかもかもしれませんけれども、帰りにゴミ箱に入っていないことを秘かに祈りながらお話をします。

先ほど言った「旅が健康法だ」というひとつは、僕自身がそうでした。鍼灸院を開業してから忙しくバタバタしたり、ストレスが溜まってこの辺が重苦しくなって、知り合いの医者に診てもらって。自分ではお酒も好きでしたから肝臓がんかと思いましたがけれども検査の結果は「異常なし」、ただ疲れやすい、やる気がでない、体重が何となく減ってくる。会うと「須藤君、痩せたね」と言われると何かドキッとす。「痩せたね」と言われて嬉しい時もあったけれど、そういう時は何かドキッとすしてあまり嬉しくない時でありました。

ずっと動けないでいたので、南のクックという島に何もしないで1週間ぐらいいました。このような仕事をやっていますから、自分で針を打ったり漢方薬を使ったりいろいろやっても全然良くならなかったのが、1週間、海の前でボーっとしているだけですぐに良くなりました。鍼灸師としては「なぜ針だけで治せなかったのだろう」と悔しい思いもあるけれど、でも何か異質な世界で言葉が通じない、使うお金も違う、食べる物も違う、という所にいることで、何か細胞には良い方向に変わる力があつたのか、という気がしました。その後、皮膚がすごく弱くて、この辺がブツブツだらけでした。鍼灸師をしていて今はマスクをしていても「コロナだからね」と言われるけれど、当時はずっとマスクをしていると「どうしたのですか」と言われたり、あるいは会合に行くと「鍼灸師は自分の顔の治療はできないの」と言われて、情けないというかショックだった時期が結構長くありました。けれど波があつて良かったり悪かったりしていましたが、それはケニアに行つてまた少々異質な世界に触れて帰つて来たら嘘のようにきれいに治りました。

これも本当に「なぜか」という話で、自分では思っていました。いま患者さんとお話をしていると、どこかへ行こうとか、どこかへ帰つて来たら元気になる人が多いです。だから何か非日常の世界に行つて、いつもと違う時間を過ごすことがストレスの解消になると言えば簡単ですけども、それだけではない遺伝子のスイッチなのか何のスイッチなのか分かりませんが、そのようなもので元気になる可能性があるところ、それを伝えたくて『旅する鍼灸院』という本を出版しました。

いま釧路と宮古島を行ったり来たりしながら。よく「釧路にいないでしょ」と言われますが、いま行っている時が3カ月に2週間ぐらいなので、だいたいはこちら

にいます。行ったり来たりで3,000kmを移動するので、「疲れるでしょう」と言われるけれど、僕にとっては行かない方が疲れるというか。緊急事態で行けなかった時もありましたが次の日曜日にまた久しぶりに宮古島に行けます。まだ宮古は30度あるので、釧路の今朝の5度ぐらいの所から移動をすると30度近い気温差があります。「そんなに気温差があって風邪を引きませんか」と聞かれたりします。サウナから水風呂に入った時は何となく元気になりますよね。その感じなのです。中途半端に東京から戻って来ると風邪を引いたりするけれども、それくらい変わっている所の刺激を受けると自分もいま元気で、特に薬を飲んだりすることもなくやって来られているのは旅をしていることが大きいと思うので、何か異質なところに飛び込む、チャレンジをしてみるといいかと思えます。

ありがたいことにロータリークラブに入れていただいて、こちらにいらっしゃる方でも針治療をやったことのない方も来てくれたりしています。『あんずの種』の針を受けたことがないという方には多分ものすごく異質な世界だと思います。針だけでも異質だし、『あんずの種』はあまり認知されていなくていろいろのことをやっているの、その異質な世界の扉を開くと、もしかしたらもっと違う元気な自分になったりするかもしれません。

この本を読んだ人の感想が嬉しいことに「何か読んだら元気になった」「心がちょっと楽になった」「どこかへ行きたくなった」「何か新しいことをやってみたくなった」という人も多いので参考にさせていただいて。ちょっと見てこの本にも旅をしてほしいので、あまり面白くないと思ったら興味のありそうな人にあげてくれたりしてくれると嬉しく思います。

これでお話を終わります。まだ大丈夫ですか。ありがとうございます。

先ほど言った「なぜロータリークラブが異質か」です。先ほど言った貧乏生活が長くて、家は普通ですけど、自分がそのような世界が好きで、お金を使わない生活をやりながら旅行資金を貯めては外国へ行き、また戻って来てバイトをして三畳一間ぐらいでパンとラーメンの生活が当たり前、そのような習慣があったから仕事を始めてからもそのような意識があまりなく、「食べていけばいい」ぐらいに思っていて、仕事の意義と理念とか「ウチの治療院は何のためにあるのか」を

あまり考えていなかったから。

夫婦2人で暮らしていければ良いと思っている時に、11月の風が強い日に丸焼けになってしまいました。タイマースイッチで入ったストーブから強風で集合煙突が割れてカーテンに引火して、1階が火の海になっていたのです。2階で夫婦で寝ていて、きな臭い臭いがして何だろうと思ってドアを開けたらもうブワッと、前髪がチリチリと焼けて。「起きろー！」と。低血圧の妻も何か尋常ならぬ声で降りて来て、「わー！」と。

釧路台という釧路町の奥、かなり田舎の一軒家を300万円で買って住んでいました。向かいの家に頼んで119番をしてもらったのですけれども、なかなか消防車が来ないのです。来ない間に、どんどん燃えて、僕の車も溶ける、バイクも溶けるという状況です。車が来たと思ったら消防車ではなくNHKの中継車で、カメラが回っていました。消防車よりもNHKが早くて、釧路町は何をやっているかと。来ない原因が分かりませんが、その後2台で消防隊員が強力な放水をして火事を止めてくれました。その時、消火活動に当たる人と僕に1人張り付く消防士がいて「須藤さん、夕べは何時ころ寝ましたか。酒は飲みましたか。たばこは吸いましたか」など、いろいろ聞いてきます。きっと火事の出火原因を調べるのかと。後から聞いたのですが、必要な情報を後からゆっくり調べるのではなく、ちょっと焦っている時に本当のことを言うらしいから、というのです。「お酒は飲みましたけれど、たばこは吸っていません」などいろいろなことを言いながら、その消防士の最後の一言が「須藤さん、誰かに恨まれていませんか」。ドキッとしてね。昔の彼女からそのようなことはないしと思いつつ、でも例えば放火みたいなことも含めてそのような時に聞くのかな、と貴重な体験をしました。

その時、会社のことなど何も考えていなかった僕が少し考えようと思ったり、理念や何のためにやるのか、釧路のためにとか考えられなかったのが、旅と火事のおかげでとなるので、人生の中で何が学校になるか分かりません。旅が学校になったり、いろんな嫌な事件が、大変だと思ったことが後々のいま、あの事件があった本当に良かったなと思っています。

つたない話しでしたけれども、またよろしく願います。ありがとうございます。

本日のニコニコ献金

- 杉村 莊平君 いよいよ再開です。皆様よろしくお願ひいたします。
- 浅川 正紳君 やっと皆さんにお会いすることが出来ました。司会でかまない様頑張ります。
- 市橋 彦佳丞君 例会再開となりました。改めて宜しくお願ひ致します。

今年度累計 89,000円